

東近江市地域公共交通活性化協議会

平成20年3月4日設置
平成20年3月27日連携計画策定



概要

東近江市能登川地区では公共交通空白地域が存在しており、地域住民の移動の自由の確保が重要な課題となっていたためコミュニティバスの実証運行を行い、JRや商店街との連携により利用増進を図り、快適な交通ネットワークを構築する。

○コミュニティバス実証運行

平成19年10月から能登川地区内4路線を2台のバスで実証運行を開始したが、乗車数も伸びず、平成21年6月1日から第3次実証運行として、大中線は、29人乗りの小型バス1台、新宮須田線、ドリーム城東線ならびに神郷中洲線は、予約制乗合タクシー(ちょこっと号)で、ダイヤも従来のバスより大幅に増やしての実証運行を開始した。

○コミュニティバス車両導入事業

大中線を運行事業者の車両(トゥーステップバス)で実証運行しているが、利用者は高齢者が多く容易に乗降可能なノンステップバスが望まれており、本格運行に向けてノンステップバスを導入する。



○公共交通の利用促進策の実施

- ・能登川地区まちづくり協議会と連携して、マイバス意識の向上を目的に「ちょこっとバスフォーラム」を開催する。
- ・高齢者向けのサロンや福祉施設、自治会の寄り合い等に出向いて、バス利用を呼びかけたり、意見聴衆を行う。
- ・駅前商店街等と連携して、コミュニティバスの利用促進を図る上で、商店街へのアクセスの喚起を図る。
- ・利用者アンケートを実施して、利便性、快適性を高めるダイヤや路線の設定を検証していく。

能登川地区ちょこっとバス&ちょこっと号 第三次実証運行路線図

